

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コスモス放課後等デイサービス でん・でん			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日 ～ 2024年 10月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日 ～ 2024年 10月 26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内にこども・障害・高齢分野があり、ライフステージを繋ぐ支援ができる。(放課後等デイサービスの提供すべき支援で示すこどもの支援に必要な関わりが、広い視点で考え対応することができる)	定例で分野を越えた事業所の会議や研修を開催し、情報共有や学びの場を設けている。	交流によりこども、家族、職員が将来の見通しがもてる機会をつくる。(見学会や仕事体験等)
2	同じ建物内に相談支援、作業所、グループホームの事業所があり、緊急時など応援体制が整っている。	月1回共有の会議を開催、日々には朝礼で各事業所の予定や特記事項などを確認している。	安全計画やBCPに準じて共に訓練を行う。自事業所だけで対応できないことなどの課題を共有し、安全安心が守られる取り組みを年間計画に基づき取り組んでいる。
3	法人内にコスモス研究所(職員への専門研修と障害児者支援の研究活動をすすめる)があり、発達を学ぶ環境がある。(障がいの特性や発達を学び、こども1人ひとりを理解する力をつけ支援に関わる)	職員の経験年数に合わせ、発達の基本を学んだり、事例を用いて学び合える研修がある。個人の学びだけでなく、職員間の交流を深める場にもなっている。	個人の学びを職員全体に伝達研修として報告してもらい、実践に活かしたり意欲向上に繋げている。心地よい職場風土が、こどもにとって安心できる居場所となるよう努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の運営状況(職員配置、環境等)が保護者に明確に伝わっていない。	保護者向けの交流の場が少なく、情報を共有する機会が少なかった。	見学会、交流会など気軽に集ってもらえる機会を年間計画により発信する。日程調整が難しい保護者の方が1つでも参加できる、参加したいと思ってもらえるよう企画する。
2	支援内容や訓練の実施状況、マニュアルの内容等の報告が十分でない。	報告をする機会が少なく、様々な情報に紛れて曖昧な伝え方になっていないのか。 (※強み②で挙げた項目が伝わっていない)	契約時やモニタリング時期、訓練後の報告だけでなく、日頃から保護者の方に具体的な内容が伝わるよう、報告をする頻度や発信方法を工夫していく。またこどもや保護者の方の意見が反映されていることが実感できる内容になっているのかを丁寧に見直していく。
3	地域活動や他機関との連携、運動の取り組みが消極的である。	移転してからコロナ禍に突入したこともあり、集う機会に慎重になっていた。広い視野で支援を考えることが不十分であった。	地域に根付いた事業所となれるよう、交流の場や気軽に足を運んでもらえる取り組みの企画をしていく。また、地域の活動にも積極的に参加していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	コスモス放課後等デイサービス でん・でん
------	----------------------

公表日 2024年 10月 30日

利用児童数 21人

回収数 18人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1	行くことがあまりないのでわかりません。	保護者の方が来所できる機会を設け実際に見てもらえるように対応します。(交流会やイベント等)
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		3	その時のこどもの人数、スタッフさんの人数がわからないので、何とも言えません。	契約内容の変更時などお知らせしていますが、機会が少ないと気づきました。利用児の人数や職員数がわかる内容をおたより等で工夫していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			1	行くことがあまりないのでわかりません。	事業所に来ていただける機会や事業所の環境がわかるものを発信していきます。(見学会やおたより等)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			1		③同様。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			1		支援で大切にしていることなど、都度お伝えする機会をつくっていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		⑤同様。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					引き続き努めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					必要に応じ支援内容について本人、保護者の方と確認し、具体的な内容を提案していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1	普段のやりとり（送迎、連絡ノート）では見えてこないです。	計画に沿って行っている支援について連絡ノートにも記載してお伝えすることも検討します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1	固定化することが悪いとも思っています。	保護者の方の様々な意見の交流ができる場を設け参考にしていきたいと思います。
保 護	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	2	8	・支援学校に通っているので、放課後デイサービスに行くことによって地域の学校に通う子と交流が来ています。 ・機会があればいいと思いますが、ものすごくニーズがあるかといえわかりません。	事業所の取り組みとして法人内の行事に参加することで、こども同士の交流ができる場とならないか検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					契約時だけでなく、必要に応じて丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17		1			支援内容の説明が不十分であったとのこと意見に対し改めて対応していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	2	5	行なわれていても仕事で参加が出来ません。	共に学び合える機会ができるよう検討していきます。直接参加が難しい方への参加の在り方も考えていきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18					努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3	1			ご意見から面談や助言等の支援の頻度や対応について十分でなかったと気づきました。個別の状況に合わせて対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					子育ての悩み、楽しみを共感し合い、よりよい支援が出来るよう努めていきます。

者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	3	7	・きょうだい同士、親同士が交流できるイベントは特にないが、個人的にはそのニーズはないのでそれをしてほしいとは思っていません。 ・仕事があるので参加が出来ません。 ・保護者会の開催は希望はしませんが、子どもがどのように過ごしているかが気になった時に、その都度見学をさせてもらえるといいかもしれません。 ・こちら側もあり求めています。	保護者の方が無理なく参加できる機会や交流を望まれる方については、随時見学ができることの発信をしていきます。日程の調整がしやすいよう年間計画を立てお知らせすることも考えていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		1人で悩むことのないよう、相談の場や体制があることを具体的、明確にお伝えしていきます。また発信しづらい方への気づきも高め対応できるよう努めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					個別の状況に合った対応を心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			1		必要な情報が適切に伝えられるよう努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					引き続き取り扱いに留意していきます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		2		マニュアルの内容についてや訓練の報告など保護者の方に周知できるしくみを検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		4		非常災害についての対応の説明や相談を個別で定期的に行っています。訓練後の報告についてもわかりやすくお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		2		安全計画の説明が不十分だと認識しました。改めてお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1	・具体的に対応考えてくれています。	事故等の対応について職員間で再度確認し、事故のないよう努めるとともに安心して利用してもらえるよう対応について説明をしていきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					「明日も行きたい でん・でんに」と思ってもらえるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			・いつも楽しみにしています。 ・お友だちや職員の方のことも大好きで、本人のペースで過ごさせてもらえて、子どもも楽しんで通わせて頂いています。	◎同様。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・子どもにも保護者にも寄り添って支援して頂き、本当にいつも感謝しています。ありがとうございます。	安心して利用してもらえるよう、またともに育ち合える関係を継続していきます。よろしくお願いします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
コスモス放課後等デイサービス でん・でん		2024年 10月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	利用人数や職員の体制により、活動内容を考えたり、訓練室以外の部屋を使用するなどしている。	取り組みの内容によっては少し狭いと感じる時もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	こどもの状況によっては柔軟に取り組み内容を変更したり、職員数に応じた活動を行うよう工夫している。	個別対応が必要なこどもへ、安全な支援が行えるよう職員数の確保に努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	室内はバリアフリーになっている。こどもたちにわかりやすく伝わるよう絵カードや写真を使用している。	個別や少人数で過ごせるよう室内の仕切りなどの工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	掃除や危険箇所の点検は毎日行い、清潔、安全を保てるようにしている。	こどもたちの活動に必ずしも合っているとは言えない時もあり、事前に職員間でしっかり共有を図るようにする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	活動内容や必要に応じて柔軟に対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	職員間で意見を出し合い進めている。	多様な働き方の職員が参画しやすい方法を継続して検討していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	アンケート結果や連絡帳や送迎時での保護者等の意向を共有し業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	現場会議以外にも必要に応じて話し合いができる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	今年度は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人内、外の研修に参加している。オンライン研修が増え参加しやすい状況がある。参加できない場合は伝達研修を行い職員全体で学べる機会を設けている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	現在作成中。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者、こどもの意向を聞き取り、事業所内ケース会議を開催、職員間で確認し計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ケース会議だけでなく日々の職員1人ひとりの気づきを共有し、計画に反映できるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	日々の実績記録に個々の目標を記載し、どの職員もが計画に沿った支援が行えるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	職員全員が状況を把握し対応できるようなシートを活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ねらい、支援内容の具体化を図り職員が必要な支援を行えるよう設定し努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	現場会議で意見を出し合っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	こどもの状況を把握し柔軟に対応するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別、集団の視点を持ち計画を作成し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	出勤時に合わせ予定を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	その日の振り返りに参加できない職員に対して情報共有ができるよう、共有ノートを活用するなどしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	すべての職員が記録できるような書式を用意し、記録できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6か月以内にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	個々のケースに合わせた内容にし支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	個々にスケジュールを決め活動できるようにしている。集団で取り組む内容も自分で選択し参加できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。	児童指導員の参加も考えるが、体制的に厳しくなかなか参加ができない状況がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	相談支援に調整をしてもらいながら、連携できる機会を整えている。	地域の保健、医療との連携は行っていないことが多い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	さかい障がい児放課後連絡会を通じ、情報共有を行っている。地域の学校とは直接連携をとるか、保護者を通じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	情報共有を図るよう努めている。	あい・ふあいるを積極的に活用していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	相談支援を介し担当者会議に参加し情報共有を図っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	センター主催の研修等には参加している。	今後積極的に連携を図るようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		交流を図る機会が少ないと感じている。長期休暇の時など地域の様々な活動に積極的に参加していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		ほとんど参加できていない。今後は参加し地域との連携を図っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や連絡帳などで情報共有を図っている。必要時には訪問し直接話し合うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		定期的な開催は行っていない。年間で計画をたて研修や家族が交流できる機会を設けていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリングや日々の状況を職員間で確認し作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	支援内容、変更した点、留意事項を説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	家族からの発信があった時や必要に応じて対応している。	発信しづらい家族の状況にも細やかに気づけるよう努めていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		コロナ禍前に計画をしてから開催ができていない。今後交流できる場を設けていく。また、就労等や家族状況によって参加できない場合の対応も同時に考えていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	迅速に対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	おたよりを毎月発行、またHPや法人内機関紙で活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行い同意を得ている。また、個人情報についての研修を行い適切に取り扱い出来るよう努めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個別の対応が必要な場合は、状況に合った対応を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		事業所独自の行事を行っていない。地域に開かれた事業所となるよう努めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルを作成、訓練を行っている。	周知の徹底ができていないと感じる。その都度詳細な報告を行うようにしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPの策定、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	医療・服薬シートを年1回保護者に提出してもらって、情報を把握し対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	指示書については必要に応じて保護者に提出してもらい対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	作成し、安全管理を行い支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		周知が不十分な点を改善していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	その都度確認し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を開催し適切な対応を行っている。また施設内・外の研修にも積極的に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	保護者に説明を行い同意を得ている。計画書にも記載し、内容の確認、見直しを定期的に行っている。	